

岡みちるの重点政策

安のみちる街

- ・**地域防災力の強化**
避難所運営委員会の組織化や財政支援を実現し、災害時要配慮者参加等の実践的な訓練を実施
- ・**シティネットワークの形成**
周辺区や都・国との連携を強化し、児童虐待防止にも繋がる相互支援連携ネットワークを形成
- ・**防犯カメラの増設**
街の隅々に設置し、犯罪抑止による治安向上とビッグデータ解析による都市問題の解決を目指す
- ・**一人暮らしの防犯対策強化**
一人暮らしの女性や高齢者等が不安時に相談できる24時間対応のホットラインの整備や防犯強化

元のみちる街

- ・**多世代共生型の暮らし方の推進**
多世代共生型住宅を整備し、助け合いによる暮らし方を選べる次世代型地域コミュニティを実現
- ・**スーパーシティの実現**
全国に先駆けて渋谷で体現し、未来都市創生により少子高齢化や都市問題の解決を図る
- ・**起業家支援ネットワークの形成**
ソーシャルビジネスやCSVを志すスタートアップ企業等の起業家支援ネットワークを形成
- ・**国際都市化の推進**
公共サインへQRコードを設置し低コストでの多言語対応を推進。来街者満足度の高い国際都市へ

幸のみちる街

- ・**デジタルデバイドの解消**
ICT機器に不慣れな方々の情報取得や環境整備を支援。誰も取り残されないデジタル社会を実現
- ・**地域包括ケアシステムの連携強化**
専門人材の活用や連携、予防医療を推進し、認知症予防や健康増進によるQOL向上を目指す
- ・**新島青少年センターの再建**
区民の福利厚生施設として整備を進め、新スポーツ普及や生涯教育の場としても活用してゆく
- ・**子育て支援の拡充**
専門人材の整備・育成により発達障害支援を推進。ママ・パパ交流や情報交換の場を形成する

多世代共生型住宅とは？



「多世代共生型住宅」とは、多様な世代の人たちがともに助け合いながら暮らす住まいの形です。近年諸外国では、ロシアのユング・ウンヌ・アルト、フランスのホームシェア、北欧のコレクティブハウス等、多世代共生型住宅の整備が進んでいます。一例では居住者間の助け合いや地域活動への参加を居住要件にして、高齢者や子育て世代、若者など建物の特長ごとに世代のバランスを鑑みつつ募集し、コミュニティスペースを併設した多世代共生型住宅を整備するとともに、住民間のトラブルを調整し交流イベントを企画するエリアマネージャーを配置することで実現しています。

かつては日本でも多世代共生は当たり前の風景でしたが、急速な少子高齢化やライフスタイルの変化により世代間のコミュニケーションは希薄になっており、多くの社会問題が生まれています。これからの渋谷の都市・地域・コミュニティや社会システムの持続性を考えると、コミュニティ醸成のためにも新たな住宅の形や多世代共生型の暮らしを選べる社会の実現が必要です。

みちるの渋谷学



代表質問に登壇して

渋谷区議会議員 岡みちる

頑張ります!!

こんにちは。岡みちるです。

この度、第三回定例会初日に自民党を代表して質問する機会を得ました。演壇に立ち議場全体を見渡すと、ピンと張りつめた空気に身が引き締まる思いがします。約60分間に亘り、福祉・教育・地域課題の他、CSVやスーパーシティ、渋谷区ならではのエコシステム形成など、これまで温めてきた区政策や新たな概念も討論しました。中でも多世代共生型の暮らしを選べる社会の実現に向けた住宅の整備は東京都庁に勤務している頃から若手のプロジェクトチームで検討し温めてきた政策でした。区長からは代々木2・3丁目の未利用国有地の取得が実現されれば福祉の総合施設の一環として整備するとの答弁をいただき、実現に向け大きく一歩前進しました。また多言語対応QRコードの早期設置や新島青少年センターの区民の福利厚生施設としての整備、渋谷区ならではのふるさと納税モデルの確立をはじめ、多くの前向きな答弁を受けました。

これからも皆様の御意見・御要望を区政に反映させ、希望みちる街・渋谷の実現を目指し、初心を忘れることなく精一杯頑張ります。

ご意見・ご要望などありましたら、岡みちるにお気軽に連絡ください!

岡みちる事務所 連絡先

渋谷区西原1-12-5 oka@shibuya-jimin.jp
050-5361-8129 Fax050-5805-6939



公式HP
http://oka.shibuya-jimin.com

岡みちる 検索

討議資料



希望みちる街
渋谷を実現します!

Michiru NEWS

SHIBUYA Report

渋谷区議会議員 岡みちる 区政レポート

岡みちる 代表質問 特集号

安心
みちる街

元気
みちる街

幸せ
みちる街

Profile Michiru Oka

2019年統一地方選挙で渋谷区議会議員に初出馬初し初当選。マスコミ業界で勤務後、東京都庁に事務I類職として倍率約100倍中4位で入庁し、在職中に知事表彰を受賞。東京大学大学院ではバックパッカーとして43カ国を訪れた経験から途上国の貧困問題のCSVによる解決をテーマに修士号を取得。

中・高教員I種免許、学芸員免許、東京シティガイド検定、上級救命技能認定、薬膳コーディネイター、書道八段、JSBAスノーボード2級、弓道初段、等

主な役職

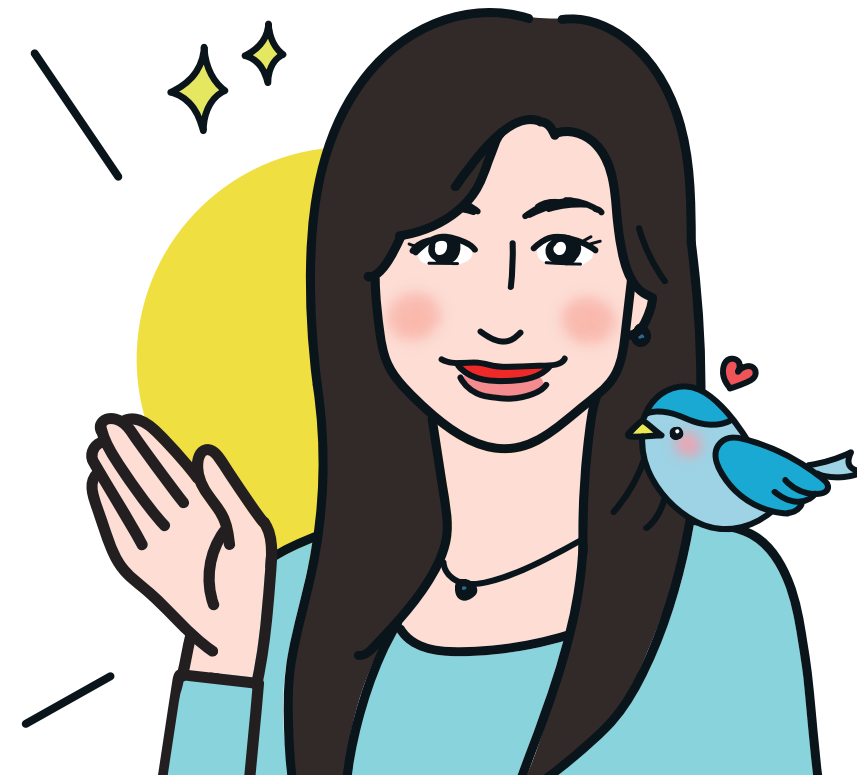
- ・自治権確立委員会 副委員長
- ・文教委員会 委員
- ・消防団運営委員会 委員
- ・渋谷区土地開発公社 評議員
- ・自民党渋谷総支部 組織広報 副委員長

新人議員 岡みちる 初の代表質問



自民党の代表質問で提言しました!

令和元年度第3回定例会初日に、自由民主党議員団を代表して一般質問に登壇しました。約60分の質問時間で原稿18,000文字の一言一句に想いを込め、これまで温めてきた政策を討論。これからもよりよい渋谷の街づくりのため、精一杯頑張ります!



01 多世代共生型住宅の実現

高齢者や子育て中の世帯など多様な世代が助け合いながら暮らす、多世代共生型の先進的で多様な住み方を選択できる街づくりを提案しました。更に代々木二・三丁目の未利用国有地を取得後、当該エリアを福祉の総合施設として整備を進めていく中で、災害対策要員や災害時対応介護要員、地域活動に貢献する若者の優先的入居を行うことで、危機管理対策や地域活性化、介護人材の待遇改善といった住宅政策による区政策推進を提案しました。

02 避難所運営の組織化

大地震や水害等の災害の発生に備え、災害時要配慮者参加の避難訓練や近隣避難所との合同訓練等、多様で実践的な訓練を実施するよう、避難所運営委員会の組織化や自主的な活動に対し財政面を含めた支援を行うよう強く要望しました。また地域特性に合った避難計画や連絡協働体制構築のため、エリア毎の地域防災マニュアルの策定を提言。近隣区等とのシティネットワークの構築を進め、災害対応のみならず児童虐待防止にも繋がる情報共有体制の推進を提案しました。

03 CSVの推進と経済活性化

持続可能な地域問題解決のため、企業が事業活動を通じて社会的課題に対応することで双方が持続的に発展することを理念とするCSV (Creating Shared Value : 共有価値の創出) の意識醸成を図り、産官学民の連携によるエコシステム形成やスーパーシティの実現を強く要望しました。また、イノベーションの担い手となる革新的な企業の成長を加速させるスタートアップ・エコシステム拠点都市としての都市整備をすすめ、世界に伍するグローバル拠点としての環境整備推進を提言しました。

04 ササハタハツと緑道整備

笹塚・幡ヶ谷・初台地区 (=ササハタハツ) の「共創のまちづくり」の中で、シティプライドの醸成と商店街活性化のため地域経済振興の取り組みを行うよう要望しました。また、玉川上水旧水道緑道を他の遊歩道と繋ぎ、皆が集う広場やクッション性のある路面、休憩所やトイレ、インクルーシブな遊具を整備し、地産地消を体験できる区民農園を設ける等、区民にも来街者にも愛される回遊型のヘルシーロードとしての整備を提案しました。

05 東京2020大会に向けた都市整備とレガシーの継承

東京2020大会に向けて、渋谷区独自の猛暑対策やQRコードによる公共サインの多言語対応、トイレ協力店へのマークの設置、バリアフリー対応のアクセシブルツーリズムの充実と回遊ルートの設定、ナイトエコノミーの推進等、渋谷の魅力の更なる創造と発信の為に都市整備やレガシーの継承について提案しました。また、大会の成功と区政の透明化のために、情報の収集・共有・提供を行う組織横断的な対策本部やプロジェクトチームの設置を強く要望しました。

06 渋谷ならではのふるさと納税

渋谷区では直近のわずか4年間でふるさと納税により約60億円を超える税収減となっており、看過できない問題になっています。これまで寄付文化を活用し、地域課題解決に取り組む活動を支援するソーシャル・アクション・ファンドやクラウドファンディングを推進してきましたが、従来の取り組みに加え、本区ならではの体験や特産品、ホテルの宿泊券等を有形・無形の様々な返礼品としたふるさと納税モデルを提案。財源課題の解決を求めました。

07 専門人材の活用や子育て環境の整備

人生100歳時代を見据え、予防医療の充実における口腔内環境の更なる向上や認知症高齢者の早期支援を行うよう、歯科衛生士や歯科技工士、専門看護師といった専門人材の連携と積極的な登用による地域包括ケアシステムの深化・推進を要望しました。また、幼児教育の質の向上と保育環境整備のため、発達障害の専門家の常駐化や巡回頻度の強化、海外先進事例を取り入れた幼児教育プログラムの改定、職員の待遇改善等、よりよい子育て環境の整備を要望しました。

08 教育の更なる充実に向けて

教育現場におけるICT教育やプログラミング教育について今後の基盤整備やより魅力的なものにするための施策を要望するとともに、オリ・パラ教育やシティプライド醸成といった生きた教育の推進、いじめ防止対策の更なる充実を要望しました。また、台風15号により甚大な被害を受けた「新島青少年センター」の建替えを早急に行い、広く区民が福利厚生施設として活用し、ベタンク等新スポーツ推進の場として整備するよう提案しました。